

# MLA48

NEWS  
LETTER

2017年8月12日  
No.125

## MLA48プロジェクト

### 8月度ミーティング(MLA48 通算第75回)

準備号

<p>シャッター</p> <p>■</p> <p>クラブ</p> <p>純粋展示</p> <p>(CJ)</p>	<p>クラブ</p> <p>一般展示</p> <p>(CS)</p>
<p>シャッター</p> <p>■</p> <p>クラブ</p> <p>純粋展示</p> <p>(CJ)</p>	<p>クラブ</p> <p>一般展示</p> <p>(CS)</p>
<p>シャッター</p> <p>■</p> <p>クラブ</p> <p>純粋展示</p> <p>(CJ)</p>	<p>クラブ</p> <p>一般展示</p> <p>(CS)</p>

8月11日(金) 山の日、横浜で**MLA48プロジェクト**ミーティングを開催。**ハムフェア2017**の準備・打合せ・展示作品の紹介等を行いました。**ブース**は、クラブ展示コーナーのメイン通路中央付近の**J-32**(左図赤枠)です。今回も**全国・電波ホットスポット探検隊**との合同展示で、前日(9月1日)の準備から、9月2日・3日とも、多くのメンバーがブースに立ちます。左図の右上には、JARL, JAIA, ビジネスの各コーナーが続き、出展団体数はクラブ199, ビジネス23等合計231で、昨年(2016)の234とほぼ同規模です。

今年のテーマは、(1) ちょっと変わったMLA, (2) 超大型/ローバンド用MLA, (3) MLAを支える測定器, (4) MLAコントローラの4つです。

#### 出展作品(順不同)

- JF1VNR 戸越さん**「**MLAコントローラ**」(自作品コンテスト応募作品)
  - JA3UOQ 原田さん**「**EU1KYアンテナアナライザ**」(ほか自作品数種)
  - JF1IQQ 下地さん**「**リモート電界強度計**」「**新基板のアンテナアナライザ**」
  - JR1OAO 中島さん**「**自動同調整合追従器**」(自作品コンテスト優秀賞受賞)
  - JA9BQE 橋場さん**「**7MHzインバーテッドVを1.9/3.5MHz MLAに変身**」
- \*出展ブース企画記事として **QEX Japan No. 24** (8/19発売)に掲載されます。
- JA5KVK 小川さん**「**自己共振を利用したヘリカルMLA**」(DVDケースに収めた新バージョンも…)
  - JK1MKP 藤井さん**「**RFワールド誌 No. 35**でおなじみの **ziVNAu**」
- \*展示とデモは、CQ出版ブース B-01の予定
- J1CAX 澤田さん**「**SAWADA LOOPS Antenna** (多連MLA)」
  - JA1BJJ 大島さん**「**50MHz用2回巻きμ同調機構MLA**」
  - JK1VNN 藤間さん**「**1.9/3.5MHz ローバンド2回巻きMLA**」

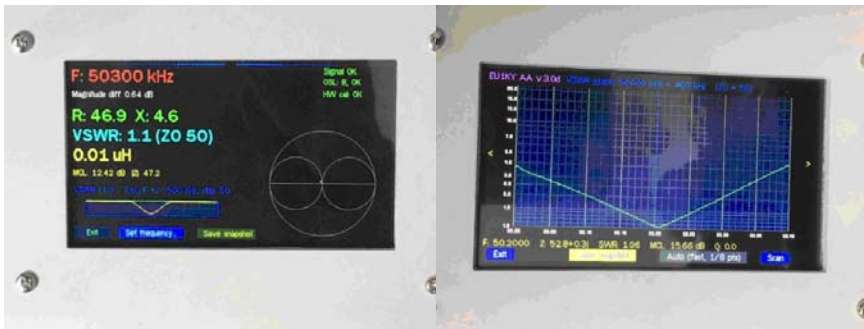
**特別ゲスト** **OK2ER, Oidaさん**のお孫さん**Robert君 (OK2RSK)**が来日。2日間ブースに立ってくれます。



チェコからの特別展示作品 3.5~14MHz 矩形2回巻MLA



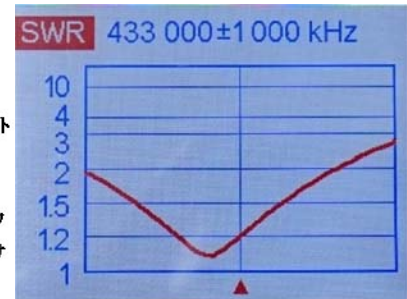
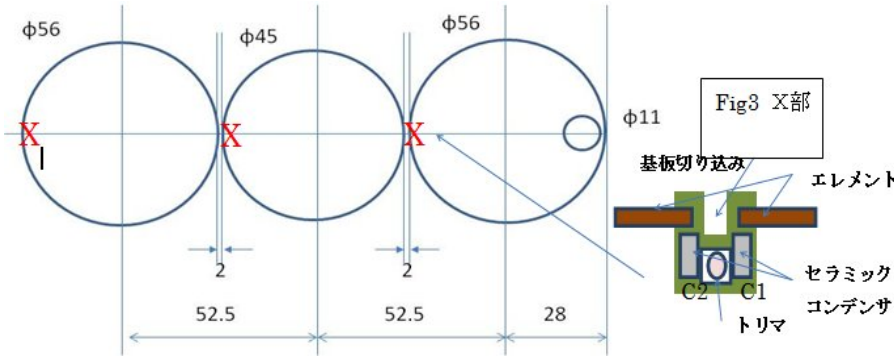
JF1IQQ 下地さん「リモート電界強度計」



JA3UOQ 原田さん「EUIKYアンテナアナライザ」50MHzアンテナ測定画面



JA5KVK 小川さん「DVDケース利用」



J11CAX 澤田さん「430MHz用 3連MLA」の寸法とコンデンサ部の基板構造.

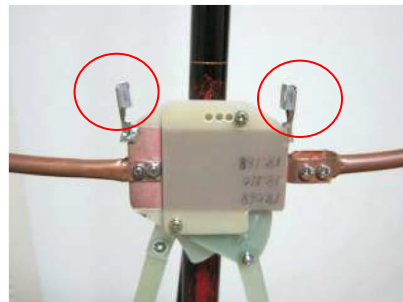
SWRの測定結果

エントリー作品を説明後、残り時間は自由発表になりました。JA3UOQ 原田さんからは、WSJT-Xのモード FT8運用の体験談。15秒毎のデータ送受は忙しく、ほとんどソフト任せとのことです。

JK1VNN 藤間さんはJT-65を始められたばかりで、JA1HIS 横田さんもチャレンジされるとのこと。

つぎに、JF11OQ 下地さんから「新基板のアンテナアナライザ」のキットがまもなく頒布できるとの朗報があり、希望者の挙手ではほぼ完売でした。JR1OAO 中島さん「自動同調整合追従器」の基板は、下地さんとのタグで10キット用意される由。今回はほぼ完成品として提供されるかもしれないとのこと。2015年の7MHzMLA 製作講習会でJA1QOJ 村吉さんに提供いただいたMLA (MK-7相当)と相性がよいので、このときの参加者はバージョンアップが期待できます。また、JK1MKP 藤井さんからは、前回の長津田ミーティング・プチ講演で説明があった、コモンモード・フィルタの測定方法の補足がありました。JG1CCL 内田さんは、UZ-8CQ用高周波アンプのプリント基板を使って完成させたケース内蔵品をご披露(写真左)。回路や、さらに詳しい解説は、QEX Japan No. 23を参照ください。

最後に、JA9BSL 野村さんご提供の「30Aのコネクタ(写真の赤○部分)」を希望者に配布しました。野村さんが関ハム2017で発表された「プリント基板と誘電体可変Cのアイデア」でも使われています。



7~21MHz対応MLAに使われたプリント基板によるC誘電体を全部入れて14MHz、3/4抜いて21MHzに共振(写真左)。30Aのコネクタを追加Cを入れて、7MHzや10MHzでも共振する。

🔊 作品をお持ちのメンバーはご一報ください。なんとかして、スペースをつくります(hi)。今年で4回目。J-32ブースにお立ち寄りいただき、MLAの魅力の一端を、お土産にしてください。

DE JG1UNE



JF11OQ JK1MKP JA5KVK JA9BQE J11CAX JR1OAO JG1CCL JF1VNR JG1UNE  
前列着席 JA1HIS JA1AVV JA1BJJ JK1VNN JA3UOQ

